

体験する

森の中での非日常を日常に



(「ちよっと暮らし」について詳しくは31ページ)

しかし、なんといっても厚沢部町の「ちよっと暮らし」事業の特徴と言えば、「思わず暮らしてみたいくなるような」体験者用住宅自体の魅力だ。アトリエが併設された「時代を巡る住宅」や白を基調としたモダンな「原野に建つ主張する住宅」など、それぞれに異なるデザインコンセプトは斬新。都会の喧噪から離れ、静かな田舎町では夜の虫の鳴き声がうるさく響く。その音が心地良くなった時、非日常の移住体験生活が日常になるのかもしれない。

斬新なデザインの住宅

田園風景が広がる厚沢部町の中に、目立つ外観の建物がある。厚沢部町など道内の市町村が道外在住者を対象に行っている移住体験事業「ちよっと暮らし」のための住宅だ。「ちよっと暮らし」とは、これらの住宅で一定期間「住む」という体験をしてもらうというもの。賃料は1か月が12万円(光熱水費を含む)滞在中は町の100%出資の「素敵な過疎づくり(株)」のスタッフが滞在者をさりげなくサポート。希望者にはそば打ち講座やレクの森トレッキングなど、厚沢部町ならではの体験プログラムに参加し、町民と交流を深めるチャンスもある。

移住者誘致は町の重要施策

ちよっと暮らし利用者インタビュー
Tさんご夫婦
(70代、横浜在住)

現役時代は、海外で生活した経験があるというTさんご夫妻。厚沢部町の「ちよっと暮らし」を利用する常連さん。

——厚沢部町のどういったところが気に入っていただけでしたか？

「やはり本州の夏と比べると段違いに過ごしやすいので、体にやさしいですね。避暑も兼ねています(笑)。ここは江差などの檜山地域と函館・大沼・松前などの渡島地域とのちょうど中間地点にある。車であちこちへドライブするのが本当に楽しみで、観光情報誌には載らない自分なりのビュースポットを発見できるのも良いですね。しかも、野菜も魚も新鮮。治安が良いところも気に入っています」

——都会に比べて不便さを感じることはありませんでしたか？

「日常的に必要なものを買う場所は揃っているので、特に困ったことは無いですね。どうしてもという時には函館まで車で1時間足らずですからね。病院も町内に総合病院があるので安心です」

——この制度はいかがですか？

「値段が手頃ということもありますが、借り上げる家がファッショナブルで美しく、広くて素晴らしいですね。子どもや孫を呼んで滞在させるのも楽しみです。また、町の子どもたちが『見知らぬ住人』の私たちにも挨拶してくれます。昔ながらのちよっとした近所づきあいの楽しさと安心感を思い出しました」



誘う

素敵な
過疎の町として



個性的なゆるキャラ「おらいも君」は物産フェアで大人気。



アンテナショップあっさふ町の風景



左／ラジオの収録風景(右が大山氏)。右／フェア会場での厚沢部のブース風景。フェア会場では移住を希望する人たちが溢れている。



ゆるキャラの「おらいも君」

世はゆるキャラブームだが、厚沢部にも昭和59年に誕生ファミリーは平成3年からしたイメージキャラクター「おらいも君」がいる。メークインの特徴を表した独特な顔立ちのおらいもファミリーは各地の物産展などで人気を博している。

世界一素敵な過疎づくり

過疎化が不可避なら、もっとも美しく、魅力ある「過疎の町」づくりをと全町あげて、町への移住促進キャンペーンを進める厚沢部町。

道内の市町村が参加し、「北海道への移住」を全国に向けて発信する「北海道暮らし」フェアにも毎回欠かさず参加。今年も東京・大阪・名古屋で開催されたフェアで厚沢部のブースが目立つ存在。スタッフはもっぱら、「ちよっと暮らし住宅」への質問・相

談に次々と訪れる客の対応に忙殺。関西在住の「暮らし」体験者も多数応援に駆けつける。

フェア会場での抽選会の一等商品も厚沢部町提供の「ちよっと暮らし住宅」1週間利用券(往復旅費の補助も)。引き当てた中年のご夫婦は、冬の厚沢部の楽しみ方を早速伝授され、期待が膨らむ様子。

中京・関西圏重視のマーケティング戦略

実は、中京・関西地区は厚沢部町を代表する農産物・メークインの最大のマーケットというわけで、中京圏・関西圏で、ラジオのレギュラー番組「ちよっと暮らし北海道」(*)で厚沢部のPRを行っている。

*同番組は毎週日曜日7時30分からSTVラジオでも同時放送

東京にアンテナショップを開設し移住PR

東京都港区にあるカレッタ汐留(最寄り駅は汐留や新橋)に「アンテナショップ北海道あっさふ町」を開設。アンテナショップでは、農産物や特産品の販売、メークインコロッケやソフトクリームなど飲食物の提供のほか、移住・交流のPR窓口としての効果も期待されています。

暮らす

健やかにたくましく生きていく
厚沢部の人々は今日も楽しくハツラツだ



①晴れ姿の新成人 ②青空の下、パークゴルフを楽しむ ③健康体操で体力づくり ④古の次代から伝承される鹿子(し)舞 ⑤ヒバの香りが漂う屋内プールで水泳大会 ⑥友釣りをする子どもたちに技術を伝える

心地良い距離感

厚沢部に暮らす人々はみなハツラツと生きている。長い距離を買い物を兼ねて散歩し、商店街で一休みする80歳を越えたお婆ちゃん。グリーンの芝生が美しい「多目的交流広場パークゴルフ場」で、「足腰が弱らないように歩いているの」と笑いながらパークゴルフに励む年輩の男女。地場産のカラマツ材を使用したまだ新しい町民プールで仲間を大声で応援する中学生。「保健福祉総合センター」前でデイスービスに訪れる高齢者で世間話をしながら道で行き会う見知らぬ人にまで「こんにちは！」と元氣な笑顔を向ける女性。まるで、町内にいる人は皆家族や友人なのかと勘違いするようなあったかさだ。町全体で4000人余り、決して多くはない人口の厚沢部町。そこには町全体で子どもを育て、高齢者を見守る、古き良き日本の姿がある。

歴史と伝統の風を背中に受けて

子どもが減る中、伝統を残す動きも盛ん。町に古くから伝わる鹿子(し)舞「風流獅子舞」は、室町時代に流行した「風流踊り」の流れを組む伝統芸能で、集落ごとに演目が異なり、



旧清和小学校正面



旧清和小学校で開催された音楽コンサート

古き良き素材を いつまでも大切に



「旧南部家住宅」現在は手打ち蕎麦の「滝野庵」

畑が広がる鶴地区を一望する丘の上にひっそりと建っているのが旧清和小学校だ。元校庭は芝生に覆われ、まるで木造の校舎を木々が優しく守っているかのよう。多い時には154人が在籍していたというこの校舎が建てられたのは昭和27年。戦争中疎開してきた子ども達、戦後入植した人達や、ベビーブームで人口が爆発的に増えつつあった時期のこと。その後、高度経済成長期に伴い、仕事を求め町を出る人が増え、過疎化の流れとなり、いよいよ閉校となってしまった1998年までは現役の小中学校校舎として使われていた。放っておけば取り壊しを待ただけの古い校舎に心底惚れ込み、「なんとかこの校舎をもっと活躍させたい」と考えたのが笠間昭三さんだ。「厚沢部の大工が厚沢部のヒバを使い、厚沢部の子を育てる校舎を建てた、これは珍しい素晴らしいことです」と語る。

6か所の集落で踊られていた町の無形民俗文化財である。現在でも町の文化祭などで披露される機会が多い。また、幕末に築城されたものの動乱の中でわずか数日で落城してしまっただ館城跡の発掘調査も日々進められている。一見すると静かな農村だが、実は歴史や伝統も身近にある。

(館城について詳しくは32ページ)

心底惚れた木造建築に新しい息吹を

新築から半世紀以上経った現在でも、一歩足を踏み入れるとヒバ独特の清々しい香りを感じ、まるでアロマテラピーを受けているように心地良い。笠間さんは併設されていた教員住宅に住み込み、「清和の丘クラブ」を結成。旧校舎でピアノソンの館野泉氏をはじめとする音楽コンサートや油絵教室などを企画・実施するようになった。また、石窯を作り、子ども達を対象にピザ作りの体験教室を催すなどにも活用している。世代は異なっても、不思議と懐かしさを感じる旧清和小学校は、新しい生き方を見出され、今も輝いている。

茅葺き建築を蕎麦屋として リノベーション

厚沢部の歴史ある建物といえば、市街地から安野呂川沿いに車で5分の滝野地区に建つ「旧南部家住宅」。明治39年に建てられた茅葺きの典型的な農家の風情を残す。柱や梁にはヒバ材が使用されているのも厚沢部らしい。現在は、手打ち蕎麦の「滝野庵」としてリノベーションされ、厚沢部の立ち寄りスポットとして人気を博している。

江差と函館を結ぶ国道227号線沿いにある道の駅。トイレなどの休憩施設の他、採れたてのとうきびやブロッコリー、メークインなどの農作物はもちろん、味噌・どんきみ等の加工食品、町在住の陶芸家による工芸品など、多彩な商品が並ぶ。ドライブ途中の旅行者はもちろん、地元町民のショッピングスポットでもある。

道の駅あっさぶ

みちのえき あっさぶ

☎ 厚沢部町緑町72-1

☎ 0139-64-3738

🕒 9:00～18:30(6～9月)

9:00～17:30(10～5月)

🕒 年末年始

📍 無料駐車場(最大80台)

場所についてはアクセスマップ13ページを参照



新たな特産品

あっさぶ産 100%にこだわった安心安全のおやつ「干し芋」と「ポップコーン」。厚沢部町産のさつまいも「黄金千貫」と「紅はるか」、ポップコーンで作る昔ながらの自然派おやつを是非ご賞味ください。



大豆の特産品

厚沢部で採れる農作物としてメークインと並んで人気の「豆」。光黒大豆・つるの子大豆の他、近年は超大粒大豆の「たまふくら」を生産し、それぞれ甘納豆や味噌などの加工品としても販売している。変わり種商品としては、黒豆茶が密かな人気。栄養価の高い光黒大豆の健康エキスを飲みやすいお茶に仕立て上げた逸品だ。



あっさぶの豆

厚沢部の特産品である「光黒大豆」と「たまふくら」で作られた甘納豆。噛みしめるたびに大豆本来の自然な甘味がしみてくる。「粒が大きく食べ応えがある」とも。この「あっさぶの豆」を買うことを目的に函館などから足を伸ばす「厚沢部ファン」もいるとか。

詳しくは9ページ

どんきみ

館地区にある田村食品工業で製造される昔懐かしさを感じるお菓子。米やとうきみ(とうもろこし)を高熱で膨らませ、破裂(どん!)させる。ふかふかした食感に大人から子供まで、幅広い世代に喜ばれる。軽いため、いくらでも食べられそうだが、元の原材料は米やコーン。意外にお腹にたまるので、食べ過ぎには注意!

薩摩芋

焼酎「喜多里」シリーズ (じゃがいも・黄金千貫・麦)

厚沢部産のメークインやサツマイモの黄金千貫(こがねせんがん)から造る芋焼酎。町内に工場を構える札幌酒精工業(株)で製造されている。メークイン焼酎は、あっさりとしたクセのない飲みやすさが特徴。黄金千貫焼酎は、口に含むとふわりと甘い香りが鼻腔をくすぐり心地良い。



野菜

詳しくは9ページ

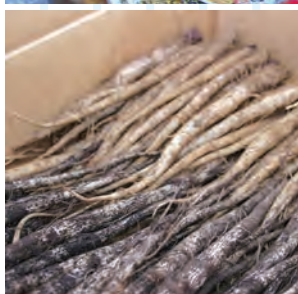


野菜の加工品

畑で採れた大根やニンジン、長ネギなどを熱風で一気に乾燥させた乾燥野菜シリーズ。元々は、鮮度が短い生野菜を消費者に長く楽しんでもらいたいと始めたもの。自家製南蛮を味噌に合わせた近所さん人気を博したことがきっかけで商品化にこぎつけた「変わり味噌」シリーズもある。



お米



買う

ロードサイドの直売所で新鮮野菜と果物を
あなただけの厚沢部の「おいしい」を見つけて

新鮮野菜と果物

厚沢部町を東西に貫くのが函館と江差を結ぶ227号。広大な畑を左右に眺めながら車を走らせると、道路脇に大きく「新鮮野菜」や「とうきみ」と書かれた旗や看板が目に入ってくる。厚沢部町の中でも畑作が盛んに行われている鶴地区に特に多い直売所だ。お店の名前にはその野菜を作っている家の名前がそのまま使われることが多い。メークインはもちろんカボチャやスイカ、メロンなど多彩な野菜を売る「佐々木農園」や、多種多様の豆やズッキーニ、乾燥野菜などの加工品を売る「東谷農園」など多数。

試食が前提!?—直売所にて

軒先の「のぼり」を目印に一軒の店へ立ち寄ると、軒先には所狭しと並ぶ「厚沢部産うまいもん」。「こんにちば」と声を掛けると、奥からお店の人がニコニコと顔を出す。すかさず、「これ、食べてみてよ」と商品のメロンを切り分け始める。はじめましてのお客さんでも馴染みの顔でも同じ対応だから安心だ。果汁がしたたり落ちるメロンは、見るからにジューシーで思わずむしゃぶりつきたくなる様相だ。食べてしまったか



らといって無理に買う必要はないのだが、市価よりもうんと安い価格とおいしさに驚いてつい「じゃあ、これ一個頂きます」と一言。有名なメークインを買おうと直売所へ来たはずが、ついすっかり他の野菜や果物を買ってしまう。こうして「採れたて」のおいしさを堪能し、厚沢部のファンになってしまう人は少なくない。

買い物で会話も弾む

それぞれの直売所ごとに売っている作物に個性がある。客同士で「スイカなら〇〇さんのところにたくさんある」などの情報交換をするのも楽しい。なにより、その農作物を作っている人と直接会話を楽しみながらの買い物は、まるで自分が野菜選びのハンターになったような気がする。スーパーなどでの買い物では味わえない充実感を得られるだろう。また、生産が少なく、なかなか全国出荷のルートには乗りにくいという珍しい（そして挑戦的な）野菜をお値打ち価格で入手できるチャンスもある。

厚沢部町を訪れたら、直売所にも気楽に足を踏み入れてみよう。新しい発見ができるかもしれない。



彩風塘

さいふうどう

☎ 厚沢部町鶴町853番地

☎ 0139-65-6366

🕒 ランチタイム11:30～14:00

ディナータイム17:00～21:00

🗓 月曜日

🅐 無料駐車場完備

畑が広がる鶴地区に突如現れるヨーロッパ風の建物が目を引く中国料理店。宿泊と日帰り入浴が可能な温泉施設に併設されたレストランで、地元食材をふんだんに使用した上質な味を楽しめる。シェフとして腕をふるうのは、かつて札幌の有名ホテルで料理長を務めた宮川朝広さん。「農作物の中には、味は何ら問題無いが、形が悪いなどで規格外となつて、流通に乗らないものがある。それらの農作物を使うことで、みんなが幸せになれる。そうした地産地消に積極的に取り組めるのも、生産地から近い厚沢部ならではの」と宮川さん。近頃は、新鮮な野菜を使った本格中華を求め、函館や札幌などから足を運ぶ人も多いという。厚沢部で採れるお米「ふっくりんこ」を使った新メニューの研究開発に意欲をみせる。

食べる

メークインを使った
厚沢部ならではのユニークな祭から
歴史ある食堂、
地産地消のレストランまで



前井食堂

まえいしよくどう

☎ 厚沢部町本町45-7

☎ 0139-64-3053

🕒 ランチタイム11:00～15:00

ディナータイム17:00～19:30

🗓 日曜日

🅐 無料駐車場(店舗前・道路向)完備

市街地にある食堂。創業明治30年。もともとは江差からニシンを函館に運ぶ「馬追」さんにうどんを提供し、一服してもらう食事処だった。5代目の店主は前井敏弘さん。ドライブ途中の観光客やお腹を空かせたサラリーマンなどのお客さんがお財布の中身を気にせず、たくさん食べられるよう、メニューの平均価格は500円前後。メニューは多数だがそれぞれに手が込んでいる。特に店主自らが手打ちした麺を使用した味噌ラーメンと、小麦粉を炒めて作るカレーが人気だ。また、味噌汁の味噌が農協女性部による手作りなのも母さんの手料理を食べているようであったかい。

厚沢部名物 巨大コロッケ

毎年7月に開催される「あつさぶふるさと夏まつり」のイベントで作られる、直径2m以上の超巨大コロッケ。もちろん、厚沢部産のメークインを大量に使用する。



あつさぶを もつと知る

データを読む

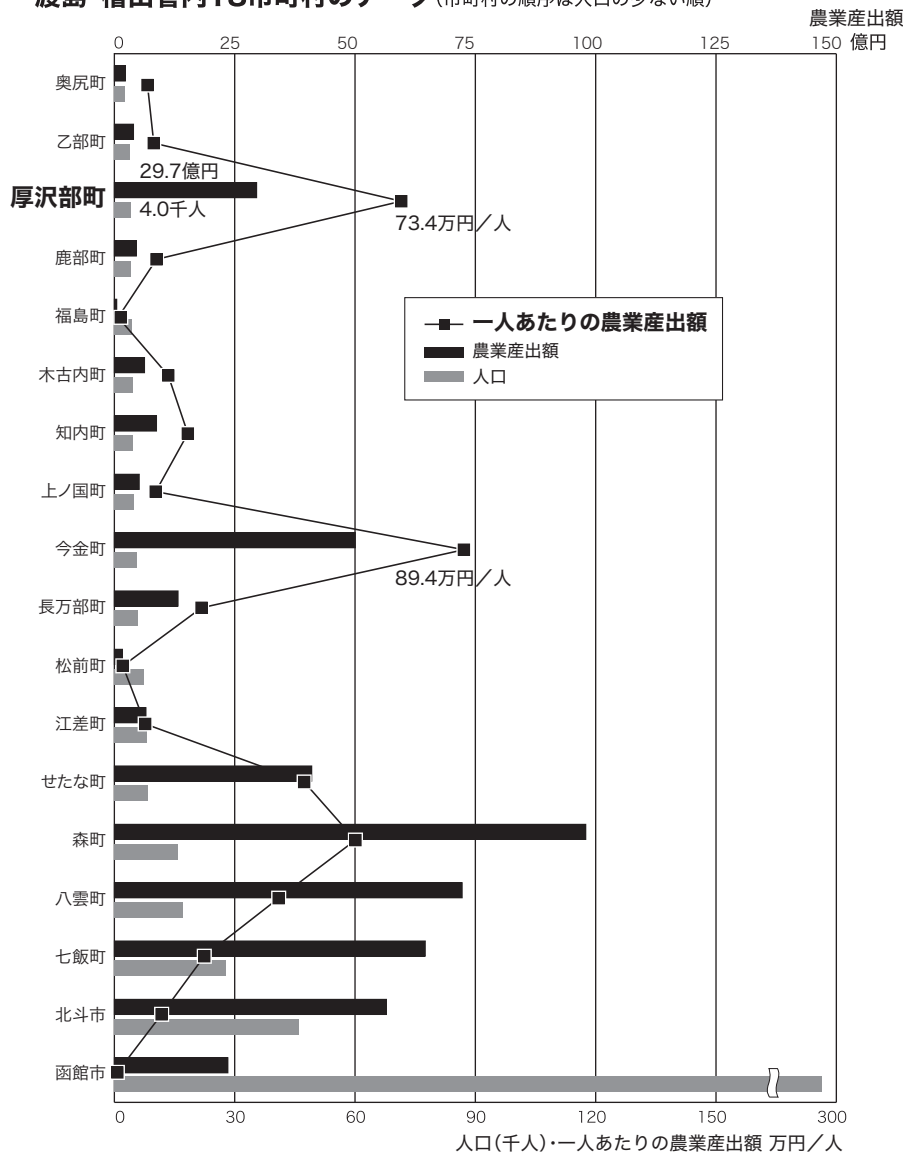
- 21 道南の農業産出額と人口の比較
- 22 自然・土地
- 23 人口
- 24 農業
- 25 農業、林業
- 26 商工業
- 27 教育
- 28 福祉・保健
- 29 行財政

デキストで読む

- 30 メーカーブランド化の歴史
- 31 厚沢部町に移住を
- 32 過去からの声：館状の落日

■道南の農業産出額と人口の比較

渡島・檜山管内18市町村のデータ（市町村の順序は人口の少ない順）

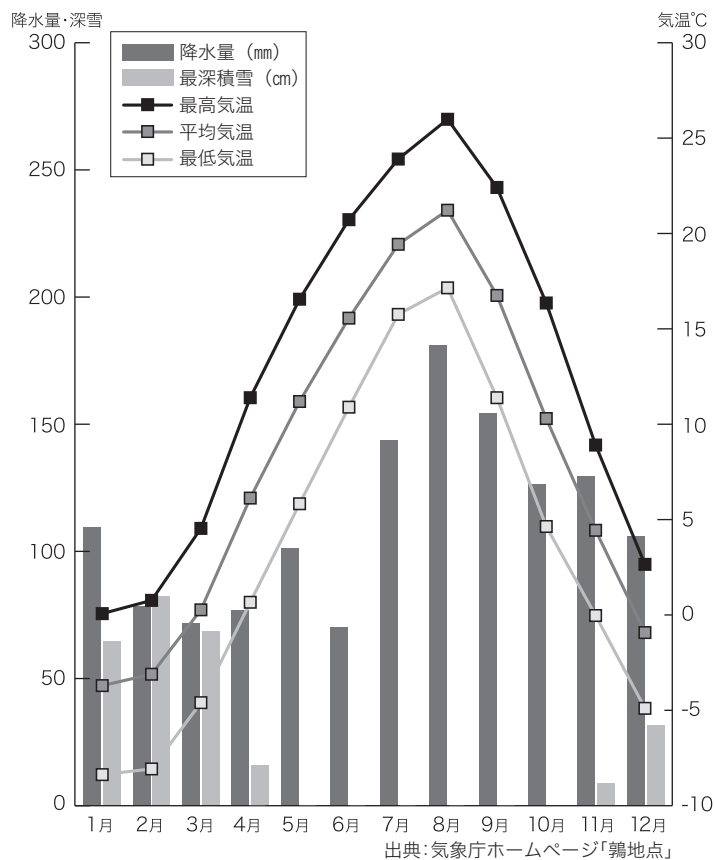


厚沢部は豊かな自然に恵まれた農業の町。じゃがいもメーカーは国内発祥の地。お米や大豆、多数の野菜類の生産でも頑張っています。人口ひとりあたりの農業産出額は73万円で道南の18市町村の中では今金町に次いでトップクラスです。

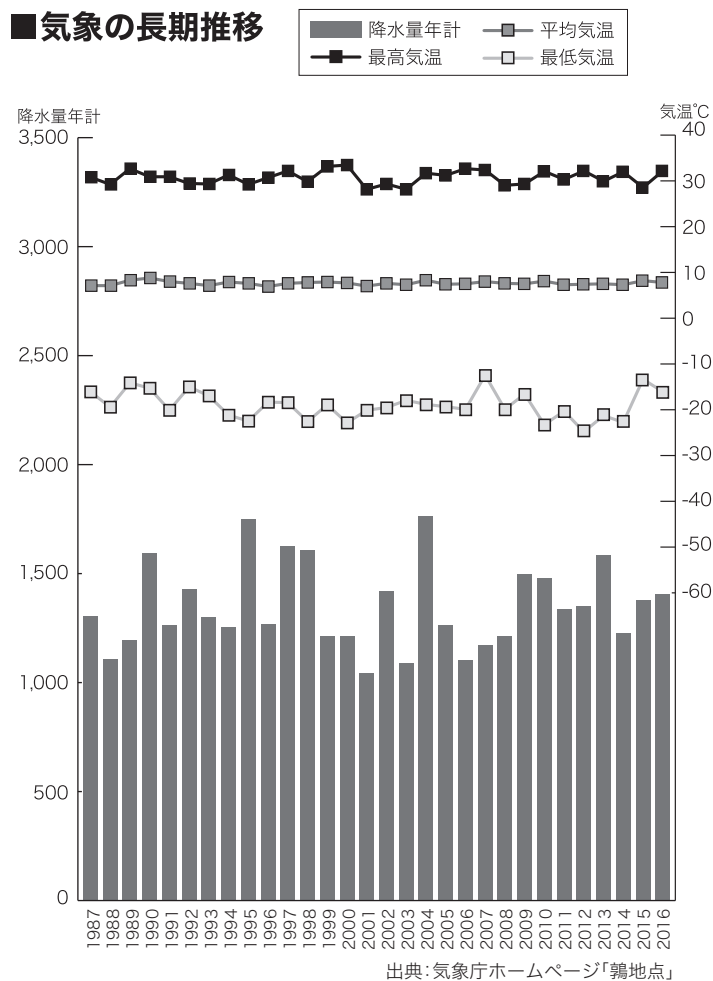


出典：①農業産出額～農林水産省「平成26年市町村別農業産出額(推計)」
②人口～総務省「平成27年国勢調査」

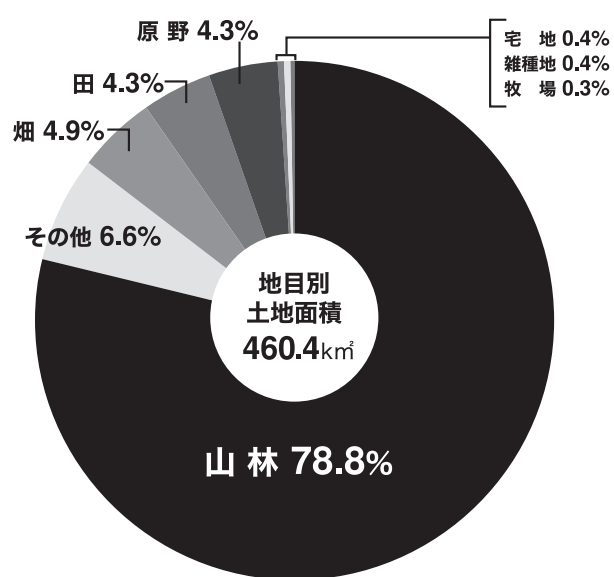
■気象 (月別・気温・降水量)



■気象の長期推移

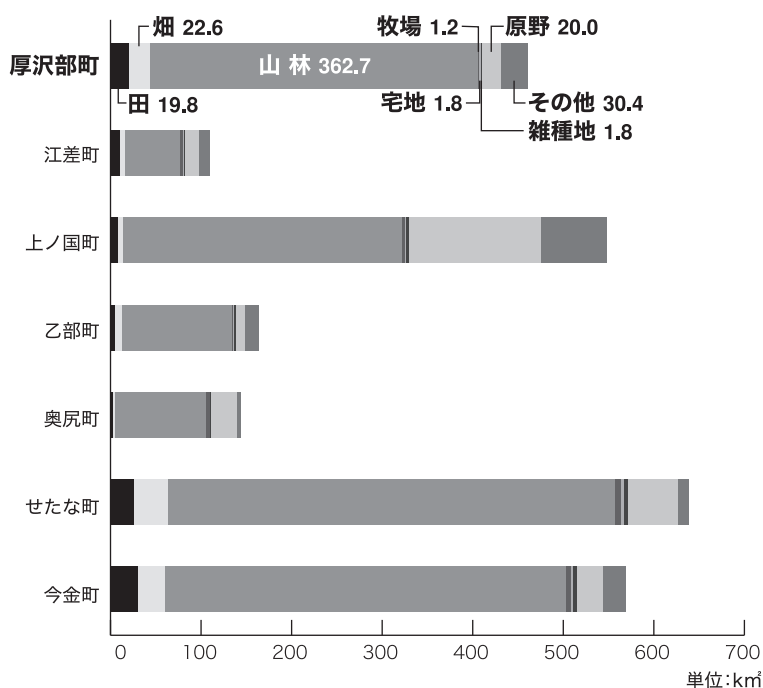


■地目別土地面積 平成26年1月1日現在



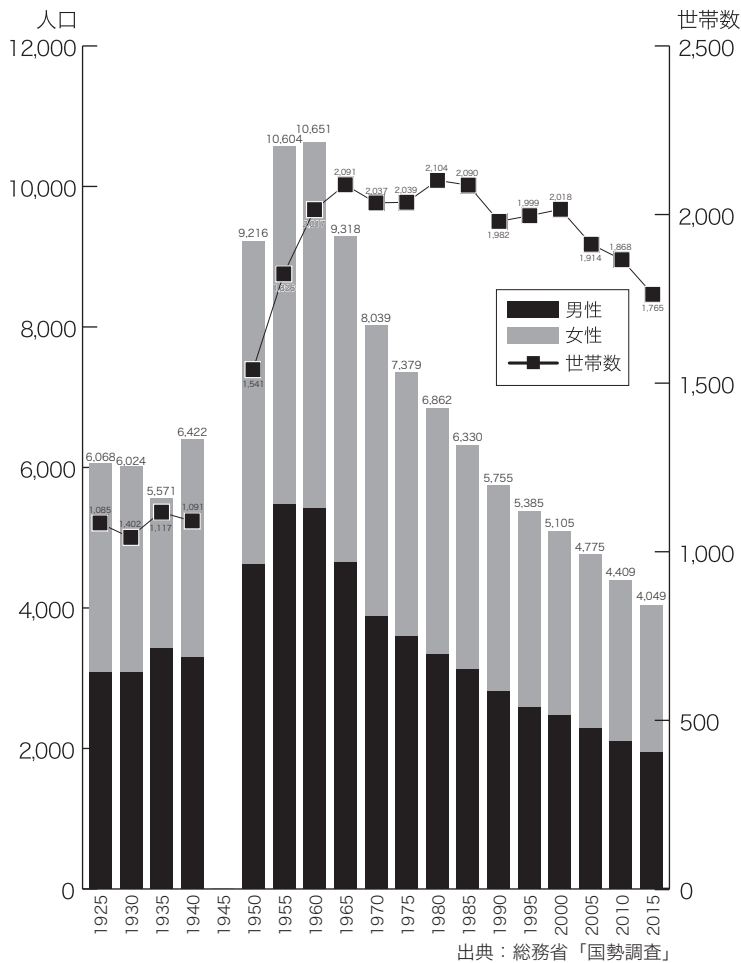
出典: 檜山振興局地域創生部 地域政策課「平成28年北海道統計書」

■檜山管内の土地利用 平成26年1月1日現在



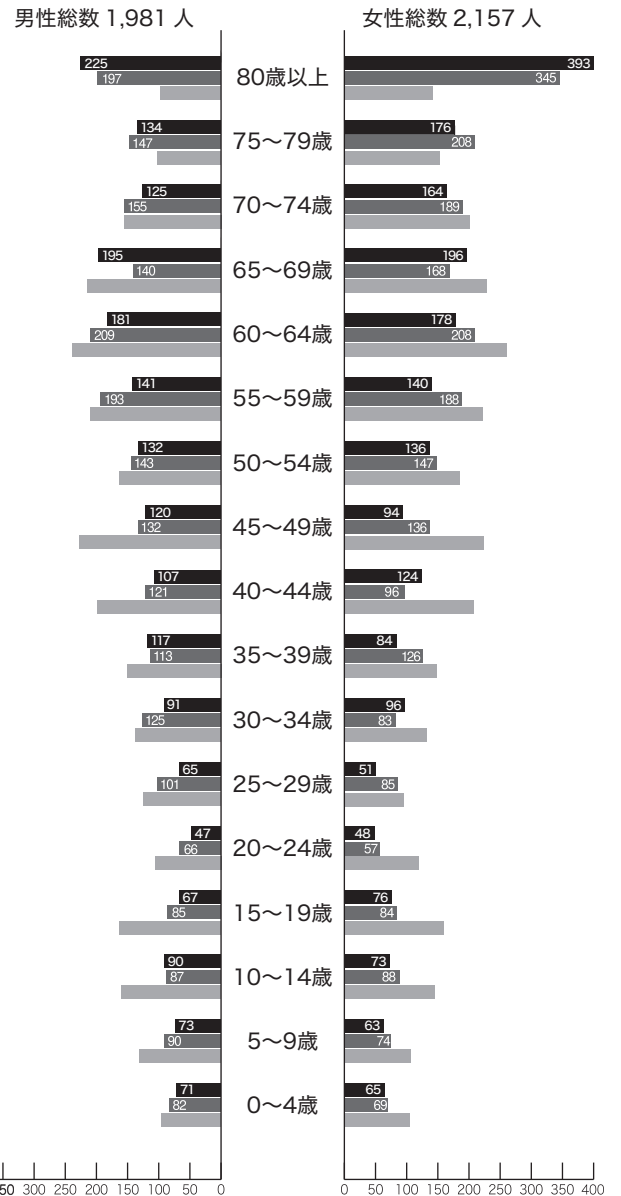
出典: 檜山振興局地域創生部 地域政策課「平成28年北海道統計書」

■人口と世帯数の推移

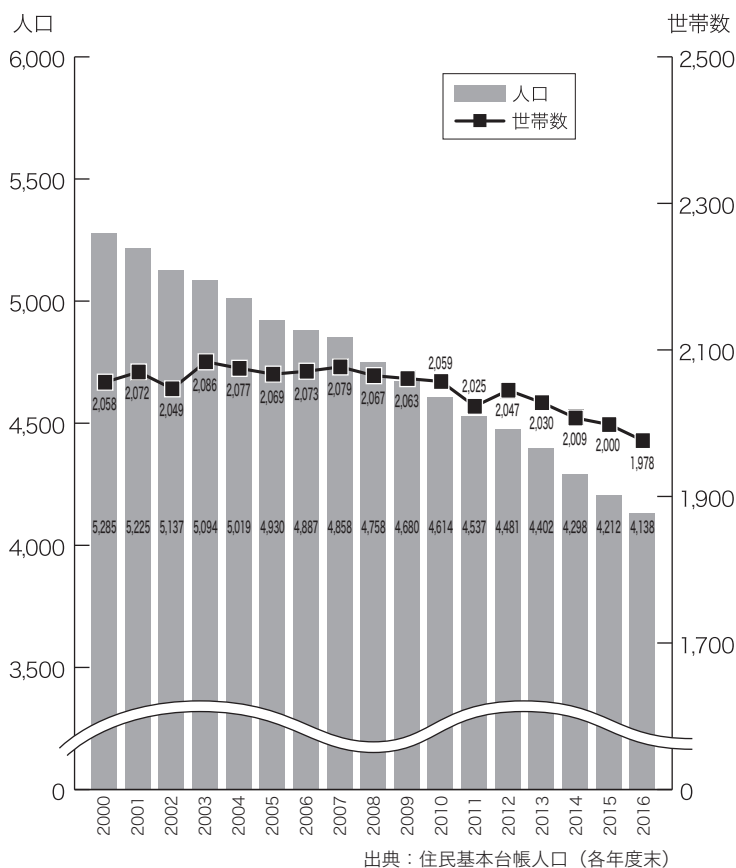


■年齢5歳階級別人口 (平成28年3月31日現在)

単位：人 ■平成28年 ■平成23年 ■平成8年



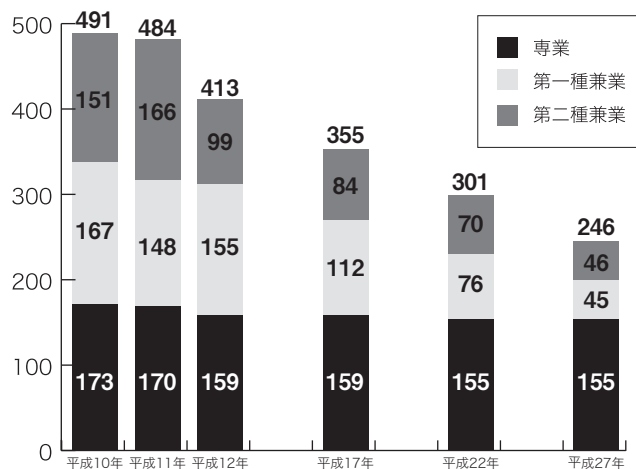
■2000年以降の年度別人口・世帯数の推移



人口は第二次大戦後に引揚者などで急増した1960年頃にピーク(1万人)をうち、その後若者の都会への流出などで減ってきて、現在は約4,100人。高齢化も進んでいて、65歳以上のお年寄りは1,608人で高齢化率は39%と全国平均(27%)より断然高くなっています。

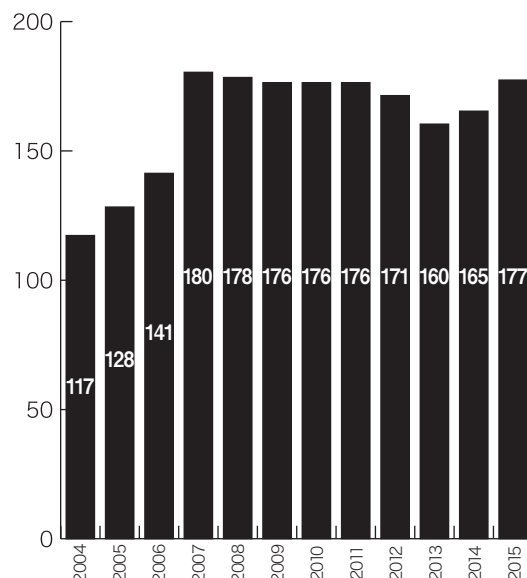


■専業兼業別農家戸数



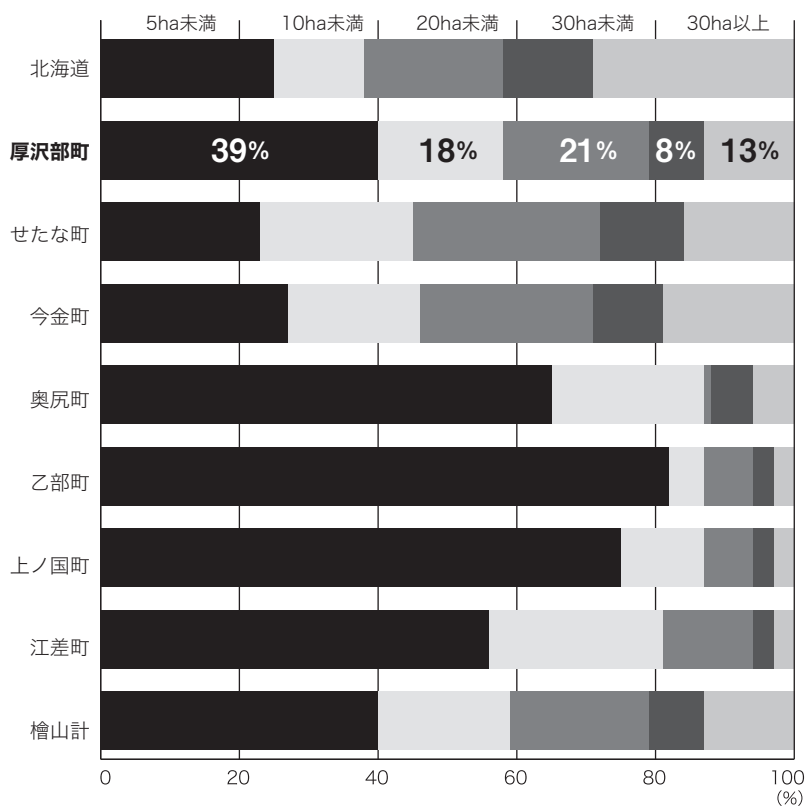
出典:平成10・11年は北海道基本調査、平成12年以降は農林業センサス(5年ごと)

■認定農業者数の年度別推移(人)



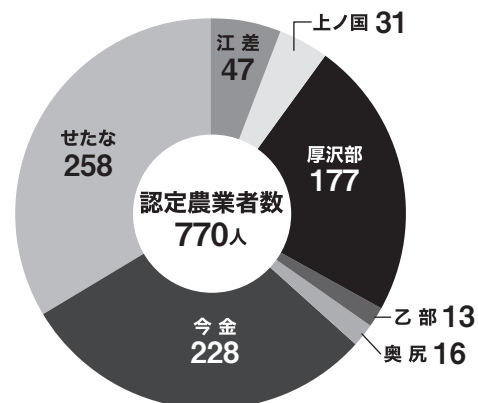
出典:北海道農政部農業経営局農業経営課

■檜山管内の経営耕地面積 規模別農家数(%) 平成27年2月1日現在



出典:北海道総合政策部情報統計局統計課「2015農林業センサス結果の概要(北海道)」

■檜山管内の認定農業者数 (平成28年3月)

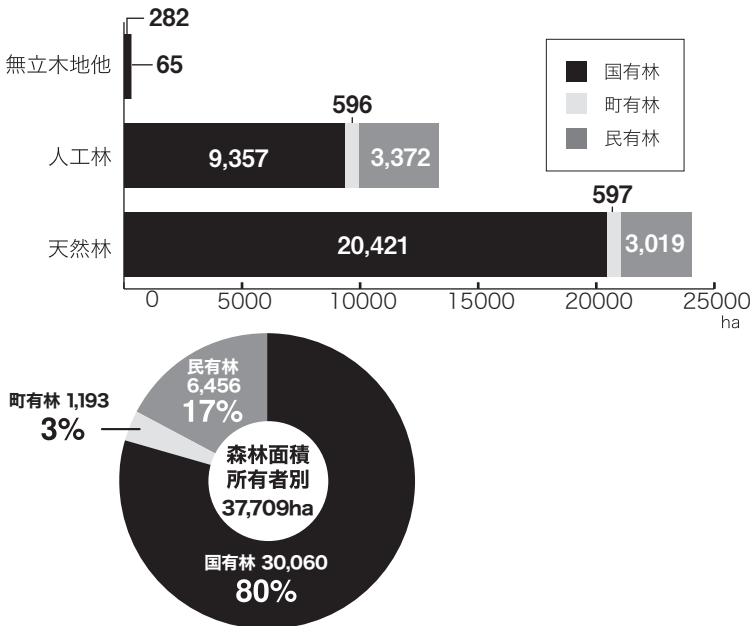


出典:北海道農政部農業経営局農業経営課

農業では後継者不足などで兼業農家を中心に離農者が増えています。作付面積のトップは水稲と大豆ですが、ばれいしょ(じゃがいも)や小麦、そして、だいこんやスイートコーンなどの野菜等、多種多様な作物が生産されています。近年はグリーンアスパラやかぼちゃにも力をいれています。



■森林面積



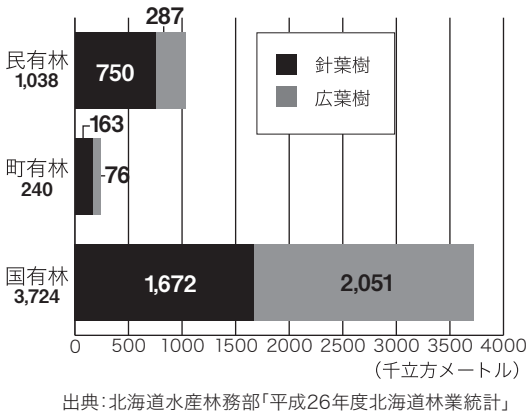
出典：北海道水産林務部「平成26年度北海道林業統計」

■平成26年度農業生産の実績

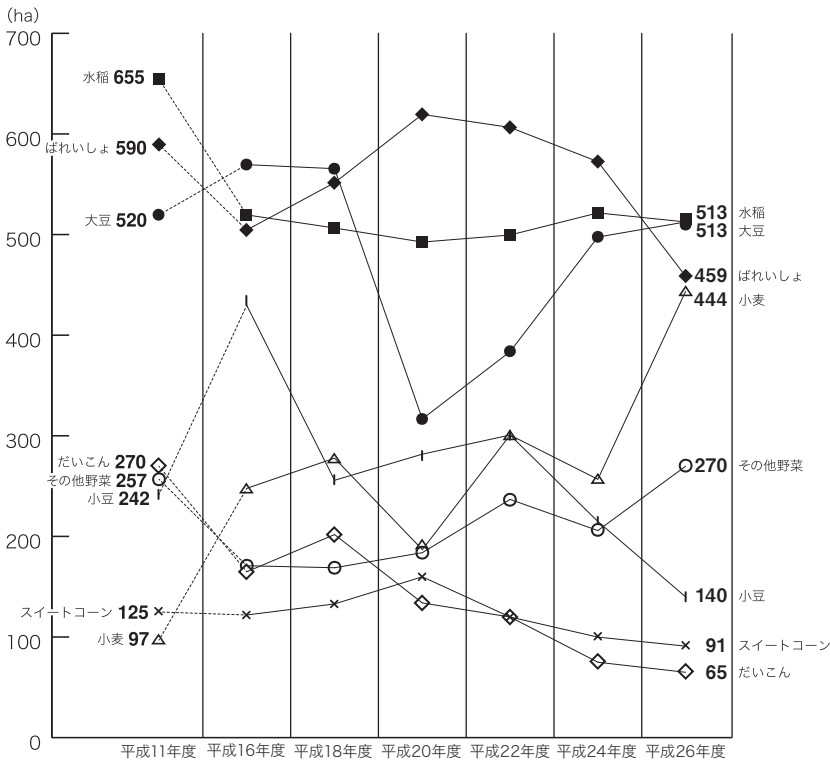
品目	作付面積 ha	収穫量 トン	10a当り収量 kg/10a
水稻	513	2,290	446
ばれいしょ	459	12,563	2,737
大豆	513	988	193
小麦	444	1,470	331
小豆	140	221	158
かぼちゃ	150	2,250	1,500
スイートコーン	91	728	800
だいこん	65	2,170	3,338
そば	93	58	62
てん菜	73	4,560	6,247
きゃべつ	25	875	3,500
ブロッコリー	18	683	3,794
アスパラガス	9	160	1,778
ねぎ	5	125	2,500
メロン	5	107	2,140
にんじん	2	61	4,067
ほうれんそう	1	10	1,000

出典：檜山振興局産業振興部農務課「檜山管内の農業統計」

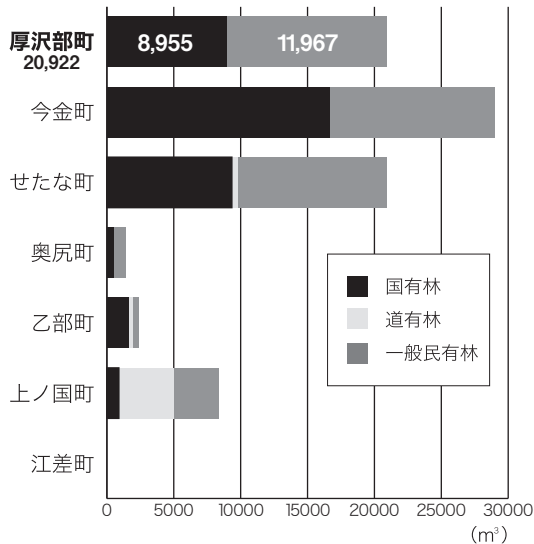
■樹種蓄積量



■農産物の作付面積推移



■檜山管内の木材の素材生産量



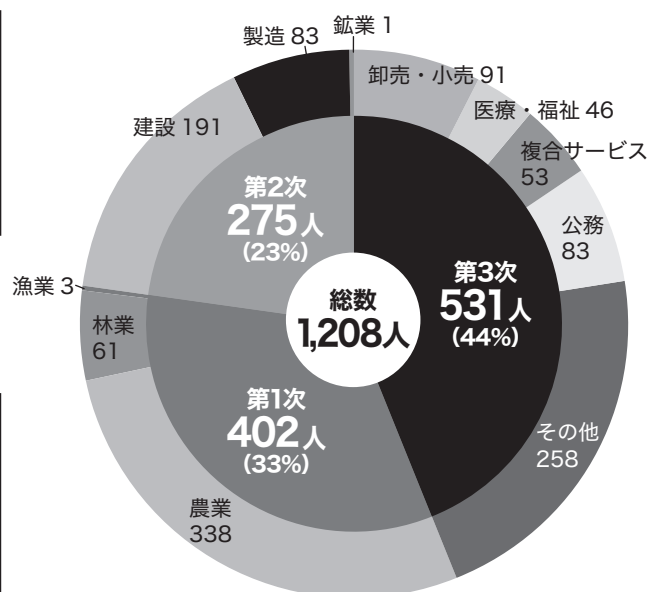
注1) その他野菜に含まれるのは、かぼちゃ、てん菜、にんじん、きゃべつ、ねぎ、メロン、アスパラガス、ほうれんそう の8種

■産業中分類別事業所数・従業員数・製造品出荷額

分 類	事業所数	従業員数 (人)	製品出荷額 (百万円)
飲料・たばこ・飼料製造業	1	5	n.a
木材・木製品	5	82	n.a
その他製品	1	21	n.a
合 計	7	108	1,916

出典：経済産業省「平成26年工業統計調査」

■産業(大分類)別就業者数(15歳以上)



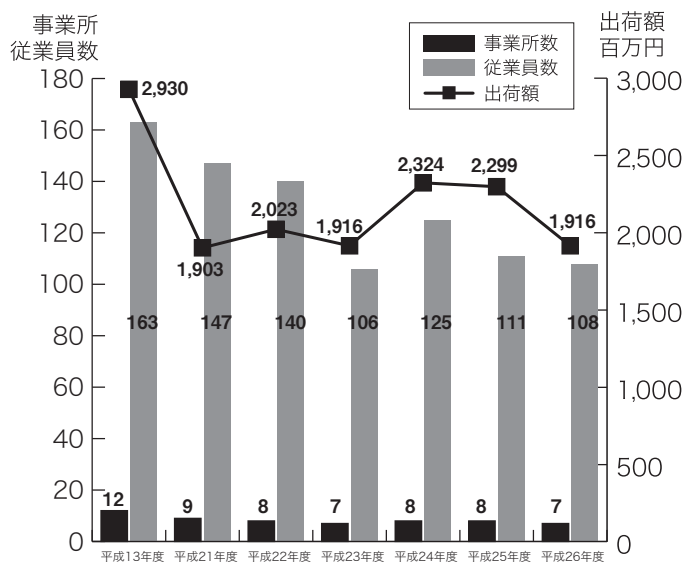
出典：総務省「平成22年国勢調査(職業等基本集計)」

■産業分類別商店数・従業員数・商品販売額

分 類	事業所	従業員数 (人)	販売額 (百万円)
卸売業	4	13	n.a
小売業	46	164	n.a
各種商品小売業	1	1	n.a
繊維・衣服・身の回り品小売業	4	6	24
飲食料品小売業	17	61	803
機械器具小売業	3	7	64
その他小売業	21	89	2,625

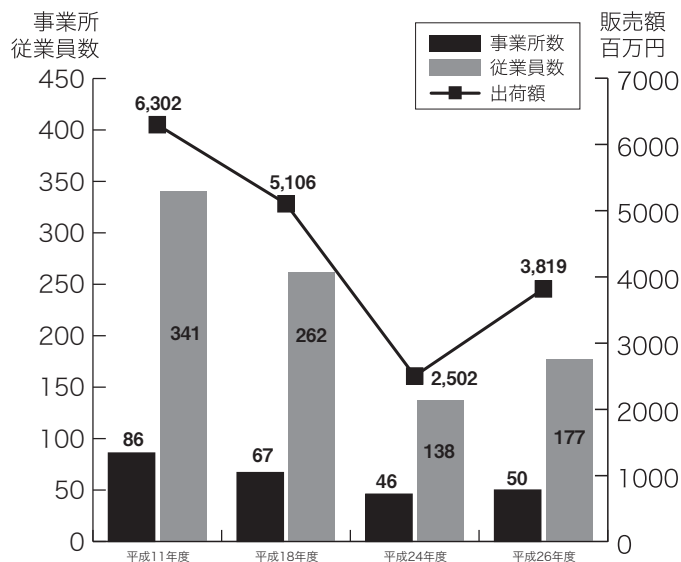
出典：経済産業省「平成26年商業統計調査」

■製造業 事業者数・従業員数・出荷額推移



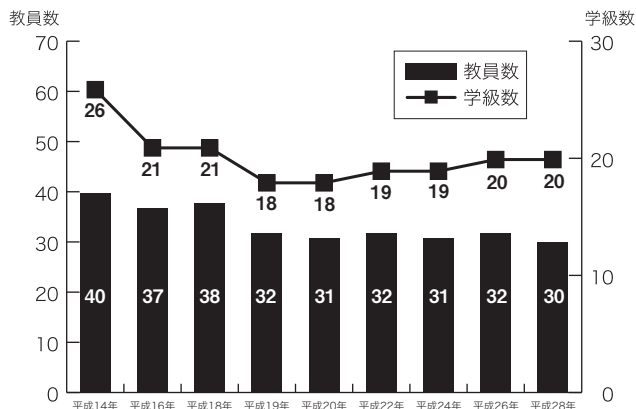
出典：経済産業省「工業統計調査」市町村別従業員数製品出荷額の推移

■商業 事業者数・従業員数・販売額推移

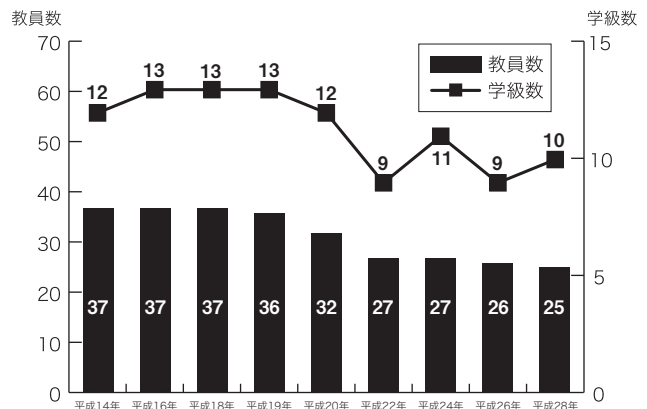


出典：経済産業省「商業統計調査」

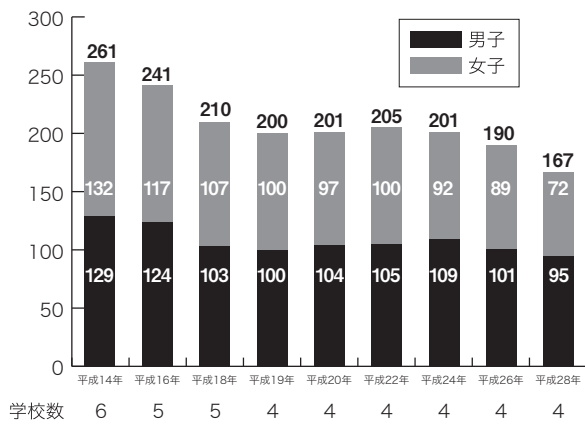
■学級数と教員数の推移(小学校)



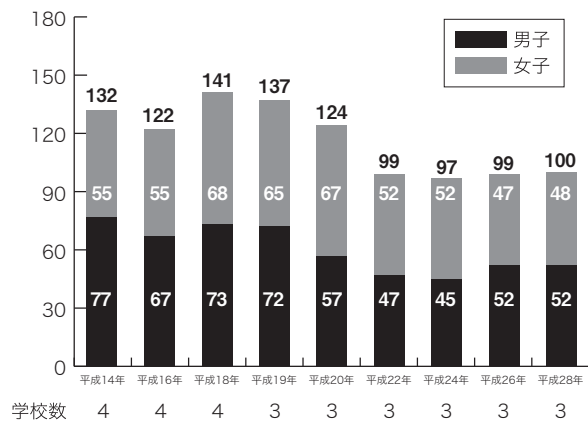
■学級数と教員数の推移(中学校)



■在学者数の推移(小学校) 単位:人



■在籍者数の推移(中学校) 単位:人



■平成28年度「学校基本調査」(小学校)

単位:人

学校名	館	鶉	厚沢部	美和	計
学級数	4	3	11	2	20
児童数 計	28	25	110	4	167
1 学年	2	3	21	1	27
2 学年	6	4	12	1	23
3 学年	6	5	20	0	31
4 学年	3	5	19	0	27
5 学年	6	4	14	2	26
6 学年	5	4	24	0	33
男子	17	16	61	1	95
女子	11	9	49	3	72
教職員数	8	7	18	3	36

■平成28年度「学校基本調査」(中学校)

単位:人

学校名	館	鶉	厚沢部	計
学級数	3	3	4	10
児童数 計	21	14	65	100
1 学年	7	6	19	32
2 学年	9	4	26	39
3 学年	5	4	20	29
男子	11	8	33	52
女子	10	6	32	48
教職員数	11	6	12	29

出典:厚沢部町教育委員会

道路現況

総 数		実延長 (km)	舗装済 (km)	舗装率 (%)
		286.7	229.2	79.9
内訳	国道	30.1	30.1	100.0
	道道	71.7	63.0	87.8
	町道	184.9	136.2	73.6

出典：北海道建設部「道路現況調査(平成27年4月1日現在)」

公営住宅建設状況（町営住宅）

管理戸数	325	平成26年度末
公営住宅	300	
特定優良賃貸住宅	25	
建設戸数	4	平成27年度着工

出典：檜山振興局産業振興部建設指導課

廃棄物処理施設・上水道

し尿処理施設	
処理人口	1,437人
年間総収集量	2,343㎏
ごみ処理施設	
処理人口	4,229人
年間総収集量	1,344㎏
上水道施設	
給水人口（簡易水道）	4,160人
普及率	100%

出典：総務省自治財政局「公共施設状況調査(平成27年3月31日現在)」

社会福祉施設等設置状況

訪問看護	2
老人福祉センター	1
指定介護老人福祉施設	1
地域密着型介護老人福祉施設	1
認知症対応型共同生活介護	2
有料老人ホーム	1
通所介護	2
居宅介護支援	3
居宅介護・重度訪問介護	2
就労継続支援	1
認可保育所	3

出典：檜山振興局保健環境部社会福祉課
(平成28年5月1日現在)

社会教育・文化施設（町立施設）

図書館	1
博物館	1
柔剣道場	1
弓道場	1
庭球場（2面）	1
多目的運動広場	1
スキー場	1
キャンプ場	2
パークゴルフ施設	1
水泳プール（屋内）	1
体育館	1
その他の施設	1

出典：北海道教育庁檜山教育局(平成28年6月1日現在)

医療施設数

病院（病床数 69）	1
一般診療所	1
歯科診療所	1

出典：北海道保健環境部「北海道保健統計年報」
(平成26年10月1日現在)

救急統計

出動件数		224
種別	急病	134
	転院	33
	交通	15
	一般負傷	30
	その他	12

出典：檜山広域行政組合調（平成28年）

交通事故

発生件数	15
死亡者	0
負傷者	12

出典：檜山振興局保健環境部環境生活課調
(平成28年)

消防体制

消防車	12
消防ポンプ車（水槽付含む）	7
小型動力ポンプ付積載車	5
救急車	
2B型	1
常備吏員数	
定数	16
実員	16
救急隊員	
救急救命士	6
上記以外	7
消防団員数	
定数	121
実員	106

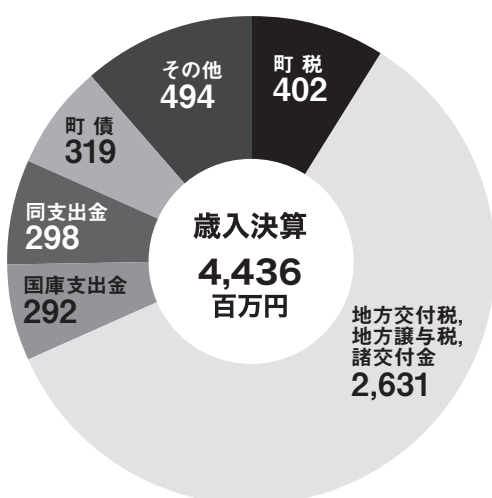
出典：檜山広域行政組合調 平成28年12月末日

火災状況

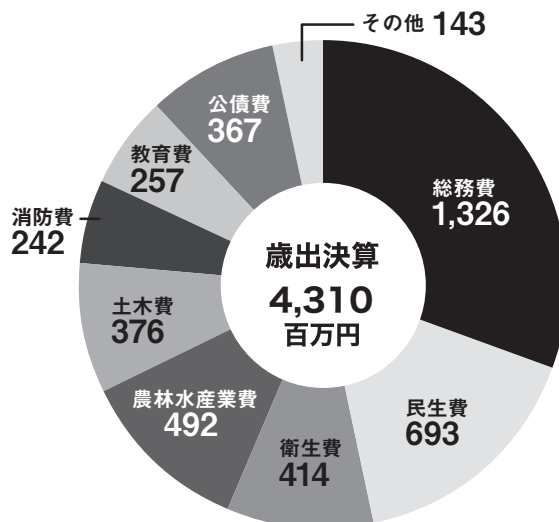
出火件数	1
建物	1
それ以外	0
死者	0
罹災世帯数	1
罹災者数	2

出典：檜山広域行政組合調
(平成28年)

■平成27年度一般会計歳入(決算)

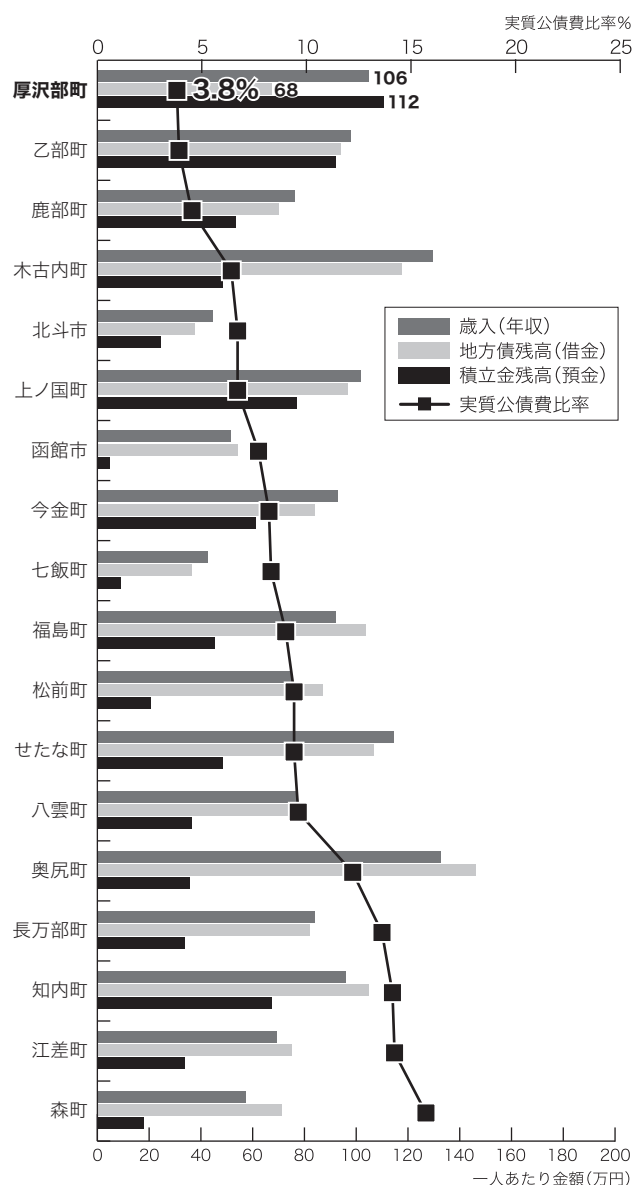


■平成27年度一般会計歳出(決算)



■道南自治体の財政状況(平成27年度決算)

住民一人あたり金額 (市町村の順序は公債費比率の低い順)



■財政指標(平成19~27年度) 単位:百万円

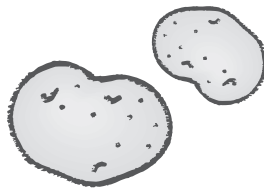
区 分	平成19年度	平成21年度	平成24年度	平成27年度
住基人口(年度末)	4,758	4,614	4,411	4,175
財政力指数	0.191	0.181	0.157	0.155
標準財政規模	2,401	2,723	2,952	2,925
歳入総額	3,837	4,972	5,039	4,436
歳出総額	3,743	4,455	4,744	4,310
実質収支	95	86	76	75
経常収支比率	76.9%	72.2%	66.6%	69.4%
うち人件費 %	23.0%	19.2%	16.9%	18.7%
うち扶助費 %	3.7%	3.4%	3.8%	3.4%
うち公債費 %	14.8%	13.5%	11.1%	12.4%
地方債現在高	2,832	2,798	2,907	2,852
債務負担行為残高	238	131	131	104
積立金現在高	2,725	3,238	3,718	4,669
実質公債費率 %	8.1%	7.9%	5.1	3.8
将来負担比率 %	-	-	-	-

出典:北海道総合政策部市町村課 市町村別の財政状況(各年度決算)

厚沢部町は健全財政で有名。町の「借金」(地方債残高)と収入の割合を示す「実質公債費比率」3.8%は全道で8位です。町の「貯金」(積立金)が借金を上回っているのも大きな自慢です。



メイクイン ブランド化の歴史



"はぜるイモ"として人気の「厚沢部メイクイン」。
栽培困難種が、関西圏を中心に人気品種になるまでの
先人のストーリー。



厚沢部町新町にあるメイクイン発祥の地碑

●メイクイン日本発祥の地・厚沢部

毎日の食卓に欠かせないジャガイモ。主婦以外には意識されることは少ないが、日本で食べられているジャガイモのメジャー品種は二つ。一つは、熱を加えるとほくほくとしてじゃがバターなどのメニューが楽しめる「男爵系」。もう一つは、熱を加えても形が崩れず煮物に最適とされる「メイクイン系」。このメイクインの日本発祥の地が厚沢部町だ。

●そもそも、メイクイン種とは

そもそもメイクインとは、イギリス中部のチェルtenhamで最初に栽培が始まり、1900年にサットン商会在世界に紹介して広まった品種。名前の由来は、5月(May)開催の春の祭りで村一番の器量よしの娘が「女王(Queen)」に選ばれることになんている。その後イギリスでは次第に廃れてしまい、今は生産されていないという。

●厚沢部とメイクインの出会い

明治以降、日本は外国の農作物の積極導入を進め、国を挙げて栽培試験を行った。明治43年に厚沢部の俄虫に置かれた檜山農事試験場がまとめた報告書の中に厚沢部の歴史上初の「メイクイン」という言葉が登場したのは大正14年。その年の品種比較試験でメイクインが好成績を収め、厚沢部は帯広の大正地区とともにメイクインの栽培に適した土地と認定された。だが、メイクインは皮が薄くて病気に弱い。農家にとっては扱いにくい品種だったため、収量が多い男爵イモの方に関心を向ける農家が多かった。その後、昭和9年に「メイクイン」は、北海道奨励品種に指定され、この年が「メイクイン発祥元年」とされる。

●メイクを厚沢部の名物に！

歴史をひもとくと、福井伝一郎という人物が浮かび上がる。伝一郎は、昭和15年に厚沢部の農協に赴任、当時の檜山農事試験場と協力して馬鈴薯の作付け指導や輪作の奨励、栽培の改善など、現在の厚沢部メイクイン生産の土台を築いた。なかでも一番の功績は、厚沢部の馬鈴薯生産をメイクイン一本に絞り、九州・関西に販路を開拓したことだろう。

煮込んでも形が崩れにくいメイクインは煮込み料理を好み、盛りつけの美しさを重視する関西の食文化と相性が良い。ここに目をつけた伝一郎のアイデアは見事にあたる。

●戦争による中断、そして戦後の復活

関西方面への販路が開拓され、軌道に乗ったかに見えた厚沢部メイクイン。しかし、太平洋戦争中の昭和19年(1944)、戦中の国策で収量が多いとされた男爵イモ一本に生産が統制され、メイクインの生産は中断される。戦後の昭和25年(1950)統制解除。昭和28年、同じ檜山管内の今金町が馬鈴薯の生産品種を男爵イモに統一、東京の神田市場に売り込みを始めた。今金に対する競争心も手伝って、厚沢部はメイクインへの傾斜を強める。その背景には「病虫害に弱く収量が安定しないとされ、他地域では敬遠されがちなメイクインでこそ、努力すればトップになれる」という伝一郎独特の考えがあったという。メイクインが町を挙げての生産品種になるまで、伝一郎は熱心に農家を説得して歩いたという。

今や、厚沢部メイクインは煮崩れしにくい特性を保ちながらも、口に入れるとほくほくりととろける大変おいしい「はぜるイモ」として、抜きん出た地位を獲得している。食用イモとして関西方面を中心に全国出荷されるとともに、国の厳しい品質基準をクリアした「種芋」としても日本全国のメイクインの産地に向けて出荷されている。





の手回しパイプオルガン製作者である谷目基さんは10年もの間、厚沢部の木々に触れ、木との会話から優れたオルガンを世に出しました。また、現在も住み続ける陶芸家白田季布さんは、廃校となった旧清水小中学校を住居兼アトリエ兼窯焼き場として利用し、暖かみを感じさせる陶器を生み出しています。

その他、新しい農業の模索を行う方、定年退職後の安住の地として、転勤の多い職業で地理的に道南の各所への移動・通勤に便利など、様々な理由で移住する方がいます。

とはいえ、いきなり移住となると不安がつきまとうものです。どんな町なのかよくわからない、町民の実生活はどんなものなのだろうか、単なる旅行だけでは知る機会も少なく、なかなか決断できない。そんな不安を解消してくれるのが「ちょっと暮らし」です。

厚沢部町では、中長期滞在者のために移住体験用住宅を用意しています。厚沢部でのちょっと暮らしが気に入って、何度も利用される方もおられます。町民との交流も広がり、もう心はほとんど厚沢部移住。

個々人の生活スタイルが異なるように、望まれる住環境、予算、仕事なども人それぞれ。そんな方々を親切にコーディネートしてくれるのが、「素敵な過疎づくり株式会社」です。どうぞお気軽にお問い合わせください。

ちょっと暮らして？（概要）

- ・町では移住体験用のちょっと暮らし住宅を用意しています。
- ・利用期間は原則として1週間以上6か月以内とします。
- ・対象者は厚沢部町に移住、二地域住宅、シーズンステイを検討されているご夫婦やそのご家族。
- ・複数申し込みの場合は日程調整や抽選で決定。
- ・滞在期間中には、ご希望の体験プログラムを随時ご案内します。

○体験プログラム例

- ・そば打ち（厚沢部産そば粉使用） ・溪流釣り
- ・クワガタ捕り ・土橋自然観察教育林（レクの森）散策
- ・たいこ山プチ登山 ・農作物収穫体験 ・山菜収穫体験
- ・パークゴルフ体験 ・郷土料理教室 ・陶芸教室
- ・スノーシューをはいて雪山散策

< 料金表 >（電気・水道、駐車場代を含む、冬期間の暖房料は別途）

滞在期間	賃料	申し込み金 （賃料の20%相当で賃料の前納）
1週	60,000円	12,000円
2週	80,000円	16,000円
3週	100,000円	20,000円
1ヶ月	120,000円	24,000円

お申し込み、お問い合わせは下記の「素敵な過疎づくり株式会社」まで

<お問い合わせ先>

素敵な過疎づくり株式会社 町の全額出資で2009年設立。スタッフが全力でサポート
北海道檜山郡厚沢部町新町207 Tel 0139-64-2022 Fax 0139-67-2035
ホームページ <http://sutekinakaso.com/> E-mail info@sutekinakaso.com

厚沢部町役場 総務政策課 宅地分譲、移住手続などの総合窓口
北海道檜山郡厚沢部町新町207 Tel 0139-64-3311 Fax 0139-67-2815
ホームページ <http://www.town.assabu.lg.jp/> E-mail info-soumu@town.assabu.lg.jp

“世界一素敵な過疎の町”を目指す

厚沢部町に移住を。 その前に「ちょっと暮らし」を してみませんか？

自然が豊かな町は、北海道にはたくさんあります。過疎地も数え切れないくらいあります。でも、厚沢部はなぜかちょっと違う。それは、たぶん新たなものにチャレンジすることに意欲的な町民気質から来るものかもしれません。

自然豊かで、ゆっくりと流れる時間、田舎ならではの面倒見の良さなどで、過去にも現在にもその環境でしかできないことをやるために移住した人がいます。現在は北海道下川町に在住の、日本でただ一人

移住特典

ふるさと定住促進事業

Uターン者（厚沢部町の住民であった方で、3年以上の町外転出があった後に再び住民となった満16歳以上40歳以下の者）・新規転入者で、定住(5年以上)した方には、定住促進奨励金として、家族帯同者には10万円、単身者には5万円が一度支給。また、満16歳以上40歳以下の方が結婚し、その後も定住する意志があると認められた方には、結婚祝金として10万円が支給。さらに、誕生祝金として子ども1人に10万円が支給されます。

子育て支援事業

園児一人当たりの保育料に対して、月額2,000円を支給。学校給食費助成として、小学生には月額1,500円、中学生には月額2,000円（各一人当たり）を助成金として支給。0歳から15歳までの子どもには、入院、通院にかかる医療費に助成金を支給します。

持家建設促進事業

住宅を建築または購入したら、奨励金として50万円、それが町内業者の施工であればさらに50万円の商品券が支給されます。その家に老人世帯と1年以上同居した場合、奨励金がさらに30万円・中学生以下の子どもが同居する場合、1人目に30万円、2人以上は50万円が加算されます。

その他、農業従事を目指す人には、農業担い手育成事業より助成金が支給されます。詳しくは厚沢部町役場移住相談窓口（総務政策課政策振興係）までお問い合わせください。

厚沢部暮らしを体験する前に読んでおきたいお試し移住ガイドブック「厚沢部ライフ」。フルカラーで厚沢部の魅力を存分に味わえます。



過去からの声 館城の落日



厚沢部町郷土資料館で所蔵している館砦志士戦没之図（明治34年5月17日発行）



歴史とはあとから読み返してみるとすべて「時代の流れ」として必然性があつたように見えてくる。しかし当時の現実の真只中であつた当事者たちにとってはそうではない。それだけが与えられた状況の中での限定された情報を頼りに、必死に未来を展望して戦つていた筈だ。その展望の多くは今となつては見果てぬ「夢」としか見えないが、そうした夢と夢のぶつかり合いが歴史の物語だともいえる。いまは史跡として厚沢部に眠る館の城址にも日本の大きな変革期の一躍を担つた「夢」の物語がある。

◆幕末の松前藩、内紛とクーデター

館城築城までには、ひとつの「時代の流れ」があつた。1855年に江戸幕府が実施した二度目の幕府による蝦夷直轄によって、松前藩は渡島半島西部の狭い領地での藩経営を余儀なくされた。折しも外国からの脅威が強まり、松前城が海上攻撃からの防衛に対して脆弱とされたこと、さらには藩財政の基盤であつた役銭（蝦夷産品の積出しへの課税）の減少などから農業中心の経済へと変革することを目論んで政治の中心を新たな拠点、それも内陸の厚沢部・館地区とすることが計画されたと考えられる。

「時代の流れ」は松前藩内部にもあつた。それは藩主継承問題に端を発する権力争いだ。松前昌広（11代）以降、崇広、徳広と藩主が交

代する中で松前藩は、ペリー来航の際に絶妙な外交手腕を発揮した家老松前勘解由派と、後に正義隊を結成することになる下国東七郎らの反勘解由派に分かれていった。

その対立は、家老職を解かれながらも、依然藩政に影響力を持っていた松前勘解由派を、1868年7月実力行使で政権から退かせる動きとして表面化した。このクーデターは紆余曲折もあつたが成功裏に終わった。その後、実権を奪つた正義隊は、勘解由派の粛清を進めるとともに館での築城を急いだ。当時、農地としては未開拓に近かつた館であつたが、豊かな厚沢部川の水とその流域の平地を利用したの農地開墾は、当時としては、先見の明があつたといえる。

◆館城の築城から陥落

館城の築城は驚くほどの速さで行われた。明治元年9月上旬に築城が着手され、10月26日頃には竣工している。

迫りくる旧幕府軍を迎え撃つためには急がねばならなかつた。実際、旧幕府軍が森町鷺の木に到着したのは10月20日であつた。厚沢部町郷土資料館には館城の設計図を基に作つたジオラマがあるが、防衛施設としては小規模の土塁と堀があるだけで、急場しのぎの造りであつたことは否めない。

しかし、新天地での再出発という松前藩若手の希望も旧幕府軍の迅速な侵攻によって打ち砕かれた。館城が完成して間もなく、松前城を陥落させた旧幕府軍の土方隊は上ノ国方面で松前軍と交戦、一方、鶴方面から進軍してきた松岡隊は11月15日館城を攻撃した。戦いは松前藩軍事方三上超順らの奮戦も及ばず僅

か一日で旧幕府軍の勝利に終わる。築城間もない館城は焼失。着工から僅か2ヵ月半で松前藩再興の夢は潰えた。

土橋付近に避難しながら、この戦況を観望していた松前藩主・徳広と側近は、乙部方面に敗走、船で津軽半島に渡つた。徳広は避難先・弘前で病死。残された松前藩兵は青森に集結して明治政府軍の先駆けとして箱館戦争を果敢に戦つた。

その後、松前藩は館藩と名を変え、徳広の跡を継いだ修広が知事に就任。館藩の名称は館城の築城が朝廷からの許可を得ていたことが根拠とされる。その後明治4年7月の廃藩置県後も「館」の名前は「館県」として存続したが同9月の再編成で旧津軽藩と吸収合併、弘前県が発足したことで、長く蝦夷を治めてきた松前藩・松前家の政治的地位は完全に消滅した。

◆そして館地区は今

館城跡に立つと、虚無感を覚える。この土の下に眠る兵たちの無念さがそうさせるのだろうか。新しい松前藩の礎となるべく築かれた館城は、蝦夷地に共和国を夢見た旧幕府軍によって滅ぼされ、旧幕府軍は松前藩兵が加わつた新政府軍によって壊滅した。それぞれの夢は途中で終わった。

館城跡地に生い茂る雑草の葉から落ちる滴は、静かに土に染み、何事も無かつたかのようにその生命力を見せつける。かつて松前藩が夢見たとおり、厚沢部の芳醇な大地は今や、南檜山一の農業地帯へと変貌した。

厚沢部町人口ビジョン

厚沢部町まち・ひと・しごと創生総合戦略

厚沢部町人口ビジョン

厚沢部町人口ビジョンにおける将来めざすべき人口規模
25年後の2040年（平成52年）の人口規模3,000人を目指します。

厚沢部町まち・ひと・しごと創生総合戦略

「厚沢部町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、人口減少・地域経済縮小の克服、まち、ひと、しごとの創生を目指し、今後5か年（平成27年度から平成31年度）の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。厚沢部町人口ビジョンを踏まえた上で、政策分野ごとに4項目を基本目標として定めています。



町長 渋田 正 己



議長 鈴木 祥 司

●基本目標1 安定した雇用と産業を創出する 開拓のまち厚沢部 ～新たな仕事・産業の創生～

- ・基幹産業である農業について、競争力を強化することにより農業所得の向上を図り、雇用機会の創出、農業後継者の確保や生産額の増加を目指すとともに、林業においてはエネルギー活用を促進し、地域産業を振興する。
- ・都市部への農産物や物産品の販売ルートを確保し、物産品の認知度を高めるとともに競争力を強化することにより販売額の向上を図る。
- ・安定した仕事を創出し所得を向上させるため、冬期間の仕事の創出、企業誘致、6次産業化等を推進する。
- ・近隣の大規模店舗の進出等による購買力の流出を抑止するため、町内店舗での消費を喚起し、地域経済に好循環を生み出す。

●基本目標2 厚沢部町への新しい人の流れをつくる 選ばれるまち厚沢部 ～ちょっと来たい・ずっと住みたいまち～

- ・利用者の視点に配慮した移住促進の窓口を設置するとともに、都市部からの移住の受け皿となる環境整備を図り、生涯活躍のまち厚沢部（日本版C C R C構想）を実現する。
- ・移住・二地域居住を推進するとともに交流人口拡大を図り、経済を活性化させるとともに将来の移住希望者の掘り起こしを行う。
- ・高齢化に伴い就業者数が増加している福祉産業を若者の雇用・移住安定に結び付けるため介護専門学校を創設し、若者の定着・地元採用を促進する。

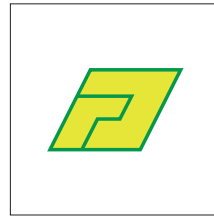
●基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる 木育(こそだて)のまち厚沢部 ～充実した子育て環境～

- ・妊娠・出産・子育てについて経済的支援、子育て環境整備を実施し、切れ目のない支援を行うことにより、1学年平均30人維持を目指す。
- ・認定こども園開設を核とした、保育及び関連サービスの充実を図ることにより、子育ての負担を軽減する。
- ・育児休業の取得を促進することにより、ワークライフバランスの実現を図るとともに、取り組む企業に対し支援し、取得環境の整備を図る。
- ・若者が将来の結婚に繋がるよう、希望ある結婚ライフを実現する。

●基本目標4 時代に合った厚沢部町をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域間連携を図る未来デザインのまち厚沢部 ～新たなまちの形成～

- ・多世代が交流し地域貢献が出来る環境を構築するための小さな拠点を形成するとともに、住民の協働による新たな地域コミュニティを構築する。
- ・人口減少を踏まえ、既存ストックを有効活用する。
- ・医療・観光など広域連携がその効果を高めるものは、定住自立圏や他の地方公共団体との地域間連携施策を積極的に推進する。
- ・厚沢部の特性を生かした魅力あるふるさとづくりを推進し、町外の厚沢部ファンを獲得する。

町名・厚沢部（あっさぶ）はアイヌ語「ハチャムベツ」（桜鳥のいる川）から「アッサブ」と転訛したものです。



町章

町章は厚沢部町の先人が厳しい風雪に耐え開拓精神に燃えて開墾し、さらに雄々しく伸びる厚沢部の「水田王国」を表すとともに、アッサブの「ア」を表現し、金色（レモン色）は水稲を表しています。



町花

ツツジ（ツツジ科ツツジ属）



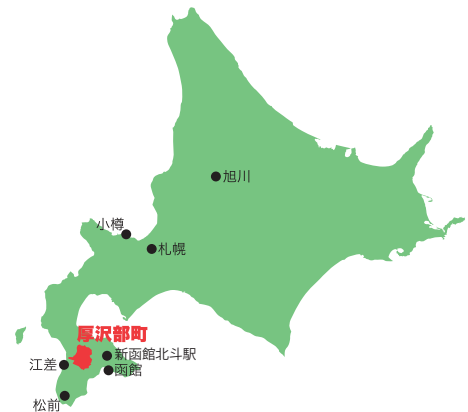
町木

クロマツ（マツ科マツ属）

厚沢部町民憲章（昭和51年8月28日制定）

私たちは、緑ゆたかなあすなろの山と鮎おどる厚沢部川の清流にはぐくまれた田園の町、厚沢部の町民です。いよいよ開拓精神の火を燃やし、町民としての誇りと責任をもち、生きがいのある住みよい町づくりに努めます。

- 一、自然を愛し、知恵をみがき 美しい町にしましょう
- 一、きまわりを守り、力をあわせ 明るい町にしましょう
- 一、元気で働き、先人に感謝し 豊かな町にしましょう



厚沢部町へのアクセス（所要時間／移動距離は目安です）



車をご利用の場合

札幌から 約4時間30分（約240km）
函館から 約1時間30分（約60km）
江差から 約15分（約13km）
新函館北斗駅から 約45分（約40km）



飛行機をご利用の場合

函館空港（函館）経由が便利です。



JRをご利用の場合

札幌から JR函館線で札幌－新函館北斗－函館バス利用で
約4時間30分



バスをご利用の場合

函館から 函館バスで約2時間
新函館北斗駅から 函館バスで約1時間

厚沢部町 町勢要覧 2017

発行日：平成29年3月31日

発行：厚沢部町役場 総務政策課

〒043-1113 北海道檜山郡厚沢部町新町207番地

tel.0139-64-3311 fax.0139-67-2815

<http://www.town.assabu.lg.jp/>

印刷：株式会社長門出版社

制作：有限会社ビットアンドインク

デザイン：敦賀浩（グラフィックハウス）

写真：野呂希一 ほか